



松ヶ崎郷土史研究会（垂水市）

発表者：下 世 吉 美 氏

皆様、こんにちは。ただいまご紹介いただきました松ヶ崎郷土史研究会の下世と申します。

冒頭の写真は、この県民ホールから桜島を見ますと、ちょうど裏側の桜島口から霧島市方



向へ3キロほどの「道の駅たるみず」の、足湯から眺めた桜島の写真でございます。

まず、私どものふるさとからご紹介します。

垂水市牛根麓、道の駅たるみず周辺の私どもの松ヶ崎地区は、桜島口から

霧島市方向へ約4キロ、奥錦江湾の海沿いにあります。前は海、後ろは鹿倉峠を中心にして深山幽谷、雑木天を覆うところでしたので、最適な隠れ場所としまして、安徳天皇と

平家の落人伝説に基づく遺跡や、豊臣政権下の五大老の一人で、関ヶ原の戦いに敗れ、島津を頼り、2年3カ月もの間潜居しました岡山領主宇喜多秀家公の屋敷跡など、著名な史跡を初め、歴史的価値ある遺跡等が点在しております。

また、桜島の黒神の埋没鳥居は、皆様方もご承知のように、早くから広く内外に知られておるところでございますが、私ども牛根麓の埋没鳥居をご存じでしょうか。



私どもの地域は、元亀から天正の初めにかけて、三州統一を目指す島津と、これを阻止する肝付との激しい攻防戦が、牛根麓の入船城を中心にしまして繰り広げられました。

この戦いの結果、島津が領有することになり、島津の守り神、稲荷神社が創建されましたが、後の大正大噴火によりまして、鳥居や、この戦いで多くの戦死者を葬りました笠仏首塚なども埋没をしまして、それから100年の今日には、地元の住民からもすっかり忘れ去られた状態になっていたのをごさいます。

このような環境の中で、地域の歴史を学び、これまで知られなかった歴史をひもとき、文化財等の整備を図ることで、地域の活性化、都市と農村の交流の一翼を担うことを目的に、平成21年4月、松ヶ崎郷土史研究会を発足させまして、18名の会員で、埋もれた文化財や遺跡等の掘り起こし活動からスタートいたしました。



これまでの活動をご紹介しますが、平成24年3月、埋没鳥居周辺整備記念事業、平成25年11月に安徳天皇をお祀り申し上げている居世神社の社殿改修事業、そして平成26年1月、大正噴火大爆発の100年記念事業、同年4月の宇喜多秀家公潜居跡整備記念事業と、この2年余りで大きなイベントをこなしながら、次のような活動を行っております。

まずその1番目は、発足当初から2カ月に1回の例会を行いまして、史料等に基づく学習や研修、地区内の史跡等の広報、並びに文化財等の維持清掃活動を重点に行っております。

2番目には、私どもの松ヶ崎の里を広報するため、これまで6回の歴史探訪を行いまして、



南日本新聞の「みなみのカレンダー」や広報紙を通じまして、市内外の方々に応募されました方々のボランティアガイドを務めております。皆様方も、私どもの所にどうぞおじゃつたもんせ。わりと良か所ですよ。

3番目には、先ほどちょっと触れましたが、



鹿児島県の事業による、平成23年度稲荷神社埋没鳥居周辺整備事業並びに平成24年、25年度の宇喜多秀家公潜居跡整備事業の完成記念の式典を、私ども郷土史研究会員が中心になりまして、盛大に挙行することができました。この整備事業を実現するために、特に関係機関



に対する陳情も行いました。

また、地域の住民の皆さんには、事前に現地における刈り払いや伐採、清掃作業等を初め、式典当日に、出てくいやんせよということで要請しましたところ、積極的な協力をいただくことができました。

4番目には、宇喜多秀家公がご縁で平成24年12月、岡山市連合町内会郷土史研究会と姉妹交流提携調印式を行いまして、岡山城における「宇喜多秀家☆フェス」に参加する等、相互交流を図っております。

5番目には、地域の文化財の説明板や案内板の見直し、それから新設を行っております。特に、道の駅たるみずには、内外から年間80万に及ぶ来客がございますので、史跡めぐりのための観光マップの作成や大型案内板の設置につきまして、現在、取り組んでいるところでございます。

最後に、郷土本のご紹介でございます。

この郷土本は、私どもの郷土の先人で、初代の大隅史談会会長を長年務められました永井彦熊氏が、長年にわたる調査と史料収集に当たられまして、平家の膨大な史料のもとに、昭和40年5月に出版されました「落日後の平家」という貴重な本でございまして、これを販売させていただいております。本日も5冊ほど持参しておりますので、ご興味のおありの方は、後ほどお声をかけていただければありがたいです。

以上、私どもの活動につきまして纏々申し述べましたが、全体の成果としま





しては、地域の歴史や文化財等の再発見に、地域住民の方々が非常に協力的になりましたことや、私どもの活動によりまして、鹿児島県や垂水市の事業導入が図られたほか、道の駅たるみず周辺の歴史探訪ガイドにつきました、あちこちから声がかかるように

なったことなどでございます。

以上申し上げましたけれども、ここに埋没鳥居のポスターを100枚ほど今日は持参してまいりました。それで、これを「それなら張ってやろうか」という方は是非よろしくお願ひします。後ほどお取りください。いろいろしゃべりましたが、この栄えある受賞を機に、地域の活性化のために、今後ますます努力をしてまいる所存でございます。

ご清聴誠にありがとうございました。(拍手)